

授業科目名： 聴覚障害教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 野原 信
			担当形態： 単独
科 目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：聴覚障害者)		
授業のテーマ及び到達目標			
聴覚系の構造・機能・病態を理解した上で、聴覚障害による幼児期・学童期の子どもの発達への影響と、考えるべき支援について学び、指導と個別指導計画の立案についての理解を深める。			
授業の概要			
聞こえのしくみについて授業では、ビデオ映像やスライドなどを使用しながら、聞こえのアセスメントと聴覚障害の補償について演習を交えての理解を深める。「聞こえないことと小児発達の課題と支援」について理解を深める。			
授業計画			
第1回 特別支援教育（聴覚障害）と生涯発達における支援の理解			
第2回 聴覚障害の生理・病理学的な理解：聞こえの仕組み・検査と診断・アセスメント			
第3回 聴覚障害による小児発達への影響の理解：言語コミュニケーション障害と指導Ⅰ			
第4回 聴覚障害児の言語コミュニケーション障害の評価：言語コミュニケーション障害と指導Ⅱ			
第5回 聴覚障害の自立活動の理解：聴覚補償と活用（補聴器・人工内耳）			
第6回 特別支援学校（聴覚障害）での指導の実際：言語コミュニケーション障害と指導Ⅲ			
第7回 障害認識の発達支援と家族指導			
第8回 筆記試験、全体のまとめ（聴覚障害の支援について）			
テキスト			
・文部科学省「特別支援学校学習指導要領解説：自立活動編」 *テキストは文科省ホームページからもダウンロードできます。 ・宇高二良 他 編著：聞こえの困難への対応、建帛社 ・当日、配布資料があります。			

参考書・参考資料等

- ・文部科学省：聴覚障害教育の手引。ジアース教育新社
- ・廣田栄子編著：特別支援教育・療育における聴覚障害のある子どもの理解と支援（シリーズ きこえとことばの発達と支援）。学苑社
- ・黒田生子ほか著：聴覚障がい児・盲ろう児の発達支援テキスト 0歳からの発達支援 基礎編。エスコアール
- ・黒田生子ほか著：聴覚障がい児・盲ろう児の発達支援テキスト 0歳からの発達支援 実践編。エスコアール

学生に対する評価

筆記試験70%、平常点（授業への参加態度、課題の提出など）30%で評価します。

課題、レポートは添削して返却する。小テストは授業内で内容についての解説を行います。

授業科目名： 重複障害教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 大江 啓賢
			担当形態： 単独
科 目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：重複、含む領域：発達)		
授業のテーマ及び到達目標 この授業では、以下を到達目標とします。 1) 重複障害の特徴（発生要因・合併症・予後等の障害特性と心理特性）を理解する 2) 障害特性や心理特性を踏まえた重複障害のある子どもの実態と教育的ニーズについて、把握の仕方と指導・支援のあり方を理解する 3) 学校教育法等の法令、学習指導要領に基づく重複障害児教育の内容と方法について理解を深める			
授業の概要 ○授業は体験学習（演習）、視聴覚教材も使用します ○講義および体験学習（演習）を通して、重複障害への理解を深めるとともに指導計画の作成や実際の指導における配慮点、指導上の工夫について説明します			
授業計画 第1回：オリエンテーション； 「重複障害」における障害特性－重複障害の発生要因と合併症の理解（重症心身障害を例として） 第2回：重複障害教育の位置づけと教育形態（医療的ケアへの対応を含む）； 知的障害の有無による指導のあり方・訪問教育の理解・教育課程の特例 第3回：重複障害者に対する教育課程（学習指導要領の理解）； 学習指導要領における「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」 第4回：重複障害者の実態把握； 生理・病理に基づく障害特性（合併症や予後）と心理特性の理解を踏まえた実態把握の方法			

第5回：重複障害者に対する自立活動；

教育課程の中の位置づけと個別の指導計画の作成

第6回：指導の実際（体験的学習を含む）；

障害特性・心理特性を踏まえた各教科と自立活動、日常生活の指導との関連

第7回：指導の実際（体験学習）；

特別支援学校（重複クラスを中心に）の見学を通じた特別支援学校における重複障害者である児童生徒に対する教育と講義内容の理解

第8回：講義のまとめ：授業内容の振り返り

テキスト

○テキストは指定せず、授業で使用する資料（レジメ・学習用ワークシート・補助資料等）を毎回、WEBシステムによる配信または授業内で配布します

参考書・参考資料等

○文部科学省（2017）特別支援学校幼稚部教育要領・小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年 4 月告示）

○文部科学省（2018）特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）平成 30 年 3 月

○文部科学省（2018）特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）平成 30 年 3 月

○文部科学省（2018）特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）平成 30 年 3 月

上記以外の参考資料（書籍・WEB 資料）は授業内で適宜紹介します。

学生に対する評価

○試験（50％）と課題（50％）による総合評価

○課題とは以下を指します

- ・授業（体験学習）等への積極的参加・意見交換
- ・授業で指示した課題（ミニレポート／コメントペーパー含む）の作成、提出

○試験、課題ともに到達目標に示す内容の理解をはかるために、以下の観点で出題します

- ・試験；到達目標について、障害特性や法規、指導技法に関する知識や理論を理解、説明できる
- ・課題；到達目標について、自身の考えを根拠（学びや自分で調べたこと）を示して相手がわかるように説明できる

授業科目名： LD等教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 廣澤満之
			担当形態： 単独
科 目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：発達、含む領域：重複)		
授業のテーマ及び到達目標			
①LD等の発達特性を理解すること、②学級における課題と支援方法を理解すること、③教科学習の指導で必要とされる教材の作成方法を知ること、④発達障害等のある児童・生徒の二次障害や自己理解の課題を知ること、⑤家庭や医療機関との連携について知ること			
授業の概要			
本科目では、個々の障害のアセスメント方法（認知・感覚・行動特性）を理解して、その情報を学級における指導に活かすことについて学ぶ。そのような情報を基に、教材作成へとつなげていくことをテーマとする。また、発達障害等の心理特性・感覚特性を学ぶ中で、二次障害や自己理解の課題について考えていく。加えて、家庭や医療機関等との連携をどのように進めていくのかといったことも取り上げる。授業は、教員が作成した資料を配布しながら進めていく。なお、本科目は演習形式で行っていくので、適宜受講者同士の議論などを行う。			
授業計画			
第1回：注意欠如・多動症（AD/HD）の支援 発達特性とアセスメント(Conners3・ADHD-RS)			
第2回：注意欠如・多動症（AD/HD）の支援 学級内での課題			
第3回：注意欠如・多動症（AD/HD）の支援 障害特性に合わせた支援のあり方			
第4回：自閉スペクトラム症（ASD）の支援 発達特性とアセスメント(PARS-TR・AQ-J)			
第5回：自閉スペクトラム症（ASD）の支援 学級内での課題			
第6回：自閉スペクトラム症（ASD）の支援 障害特性に合わせた支援のあり方			
第7回：限局性学習症（LD）の支援 発達特性とアセスメント(LDI-R・STRAW・K-ABC-II)			
第8回：限局性学習症（LD）の支援 学級内での課題			
第9回：限局性学習症（LD）の支援 障害特性に合わせた支援のあり方			

- 第10回：情緒障害の支援 情緒障害（選択性かん黙等）の特性と学校における支援
 第11回：言語障害の支援 言語障害（構音障害、吃音等）の特性と学校における支援
 第12回：発達障害の特性に合わせた教材作成 アセスメントに基づいた教材作成
 第13回：発達障害の特性に合わせた教材作成 教材の発表とふり回り
 第14回：発達障害等がある子どもの支援① 二次障害と自己理解
 第15回：発達障害等がある子どもの支援② 家庭や地域との連携

テキスト

テキストは使用しない。資料は教員が作成の上、配布する。

参考書・参考資料等

- ①滝吉美知香・鈴木恵太・名古屋恒彦(編著) (2023)『改訂版 特別支援教育に生きる心理アセスメントの基礎知識』, 東洋館出版: 東京.
 ②文部科学省 (2018)『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)』, 文部科学省: 東京.
 ③文部科学省 (2018)『小学校学習指導要領解説 総則編』, 文部科学省: 東京.
 ④文部科学省 (2018)『中学校学習指導要領解説 総則編』, 文部科学省: 東京.

学生に対する評価

成績評価は教材作成に関するレポート(60%)、最終レポート(40%)によって行われる。評価基準は、レポート課題の出題時に説明する。作成された教材に関してフィードバックを行う。